

東京エレクトロン

WAN環境におけるデータ最適化管理を可能にする「Brocade Tapestry WAFS」と「DD400」

高速なWANアクセスで ファイルサーバ統合を実現する 「Brocade Tapestry WAFS」

分散化しているストレージやファイルサーバを統合して集中管理することは、今やコンプライアンス（法令順守）やリスク管理の観点からも重要課題となっている。しかし、通常のWAN環境でストレージ統合を行うと、物理的に発生する距離の遅延や、いくつもの通信機器を介することによって起きる通信遅延などにより、拠点を結ぶファイルアクセスのパフォーマンスが極端に低下してしまう。その対策として、ストレージやサーバを増強したり、回線帯域

を拡張したりする企業もあるが、これでは遅延の影響を緩和することはできても、結果としてTCOを増大させてしまうため、根本的な解決には至らない。このような問題を解決する製品が「Brocade Tapestry WAFS」（以下、WAFS）である。

LAN環境と同等のパフォーマンスを実現

WAFSの最大の特長は、WANに最適化するように独自に開発された「SC/IPプロトコル」と、同期・非同期処理の柔軟な組み合わせを可能とするインテリジェントな「キャッシュ技術」により、WAN環境においてもLAN環境と同等のハイパフォーマンスを実現できることであ



Brocade Tapestry WAFS

る。例えば、データセンターにコア・アプライアンスを、各拠点にはエッジ・アプライアンスを設置して、各アプライアンス間をSC/IPプロトコルでつなぎ、高速データアクセスを実現する。この場合、大容量のキャッシュをエッジ側に保存するので、センター側の統合ストレージにその都度アクセスしなくても最新のデータをローカルで取得することができるようになる。また、統合ストレージにデータを保存する場合でも、クライアントPCはエッジ・アプライアンスへの書き込みが完了した時点で開放されるので、待ち時間が発生しない仕組みになっている。

Windows環境との高い親和性

信頼性が高いこともWAFSの特長としてあげることができる。内蔵ディスクは全てRAIDでミラーリングされているので、万一の障害から重要なデータを保護することができる。また、コア・アプライアンスを

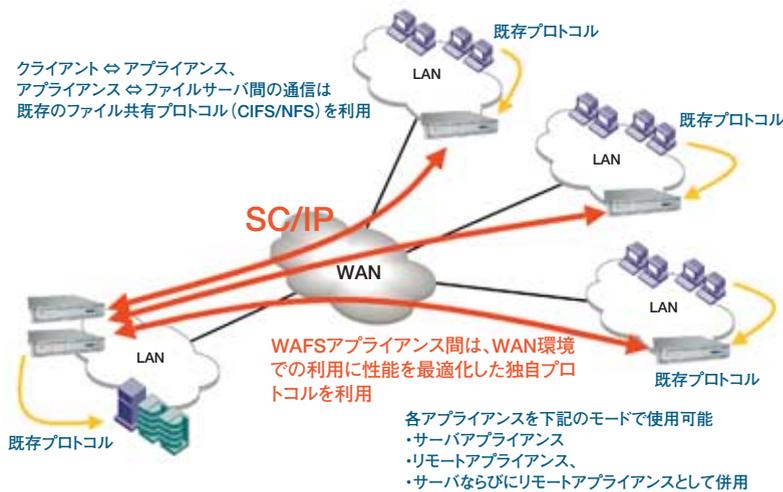


図1 Brocade Tapestry WAFSの利用イメージ

冗長化して、フェイルオーバー構成にすることも可能である。WAFS 内部ではWindows Storage Server がそのまま動作しているため、Windows 環境との親和性が高く、Office アプリケーションをはじめとしたCIFSフォーマットのデータにもネイティブで対応している。

このような特長により、WAN環境における遅延や帯域幅の制限を受けることなく高速なファイル共有が可能となり、分散する拠点のファイルサーバの統合と中央データセンターにおける一元管理を実現できるようになる。WAFSは、データ保護の観点に立ったWAN環境の確立と同時に、セキュリティ、コンプライアンス、コスト削減といった課題にも対応した画期的なソリューションである。

独自の容量最適化技術で効率的な リプリケーションを実現した 「DD400エンタープライズシリーズ」

従来のディスクベース・バックアップシステムは、バックアップに要する時間の問題を一時的に緩和するため、テープライブラリシステムの前段に置くという、高速キャッシュ的な位置づけで使用されていた。しかし、経済性と運用面という点においてもテープオートメーション技術



Date Domain DD400

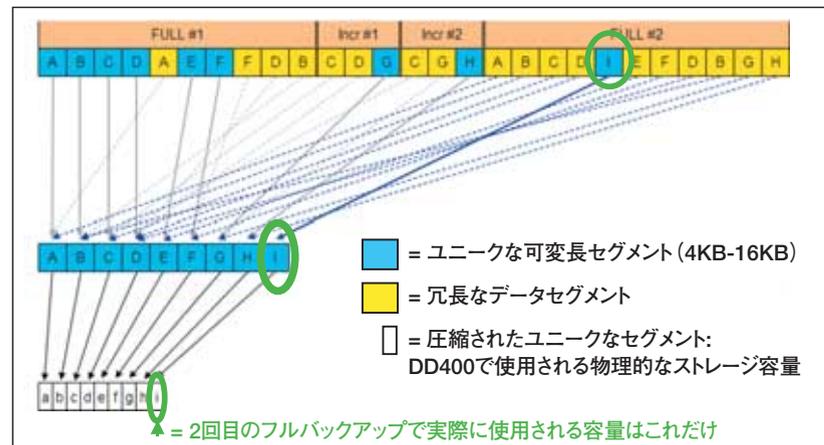


図2 Data Domainの容量最適化 (COS) 技術

に置き換わるものではなかった。単純なディスクでは、バックアップデータを長期間、安価に保持しておくことができないだけでなく、WAN経由で大容量のバックアップデータを複製することも困難であった。このような問題を解決した製品が、Data Domain社のディスクベース・ストレージ「DD400エンタープライズシリーズ」(以下、DD400)である。

大幅なデータ量を削減

DD400の最大の特長が、同社独自の容量最適化技術「COS (Capacity Optimized Storage)」を利用した、業界最高のスループットを誇るスケラブルなバックアップ・リカバリーストレージ用COSシステムである。COSシステムは、同一のデータ列は1度しか保存せず、冗長なデータ列をサイズの小さい参照データに置き換えることにより、バックアップデータのサイズを平均で20分の1に圧縮して格納し、物理的ストレージ容量を大幅に削減するとともに、オンサイトで長期間のバックアップ

データをテープ媒体並みの安価な容量単価で保持することができる。

また、バックアップ利用可能容量は、15TB～233TBのスケラビリティを持っており、スループットは、LTO3の性能に匹敵する290GB/時間を達成。さらに、災害復旧用のリプリケーションにおいても、WAN経由でバックアップデータをリモートサイトへ効率的に複製することができるなど、テープに代わるバックアップ・リカバリーシステムを実現した製品である。

既存の企業向けシステムに統合可能

DD400は、主要な企業向けバックアップソフトウェアに認定されているので、既存の企業システム環境を変えることなく容易に導入することが可能である。

お問い合わせ先
 東京エレクトロン株式会社
 ストレージ営業統括グループ
 TEL : 03-5561-7186
 E-mail : sales_san@kabuki.tel.co.jp
 URL : <http://www.tel.co.jp/cn/>